

図書館に関する話題 第7回

「遺伝子組み換え食品って何？」

平成 21 年度理系図書整備予算購入図書の紹介

農学生命科学部准教授 千田 峰生

「遺伝子組み換え食品って何？」は農山漁村文化協会が 1997 年に制作した 43 分の DVD で、遺伝子組み換え食品とは遺伝子組み換え作物を原料とした食品です。私は農学生命科学部で植物バイオテクノロジーを教えているのですが、板書とプリントを用いております。そのため、遺伝子組み換え作物はどのようなものを映像で見せたり、遺伝子組み換え技術をイラストで解説してくれるような DVD があれば、補助教材として役立つのではと考えておりました。それでネットの検索ソフトで調べたところ、この DVD が出てきたので附属図書館に購入を推薦しました。しかしながら、私が意図していたものとは異なり、遺伝子組み換え作物反対派を代弁するような代物でした。よく考えると、これが制作された 1997 年は遺伝子組み換え作物がアメリカで栽培され始め、「遺伝子組み換え作物は危険である」という風潮が日本でもマスコミを通じて起きた頃だと思われまます。したがって、この DVD は必ずしも中立的な立場で制作されたものとは思えません。ですが、遺伝子組み換え作物は通常の作物と全く変わらないことが映像でわかりますし、遺伝子組み換え技術をわかりやすいイラストで解説しているため、その部分に限れば、補助教材として十分役立つものと考えられます。

それでは 1997 年から 10 年以上経った今、遺伝子組み換え作物はどうなっているかというとその勢いは衰えておらず、作付面積が拡大しているのが現状です。私は遺伝子組み換え作物の推進論者でも反対論者でもなく、授業では客観的に遺伝子組み換え作物の話をしているつもりです。そして学生に必ず話すことがあります。それは「遺伝子組み換え作物や遺伝子組み換え食品は自分たちに関係ないと思っているかもしれませんが、それはありえませんか」ということです。日本には、遺伝子組み換え作物を原料に使用しても法的に表示義務のない食品がありますし、もし TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が締結されれば、今後遺伝子組み換え作物の輸入量がさらに増加することも予想されまます（現在でも大量に輸入されている事実をお忘れなく）。皆さんは、価格がかなり高くなっても遺伝子非組み換え食品にこだわるか、それとも安い遺伝子組み換え食品にするか、どちらを選択しますか？近い将来、各個人の判断が必要とされる時期が来るかもしれません。今後、日本が食糧自給率を上げなければ、その選択さえ許されない時代が来るかもしれません。

(せんだ みねお)

今回、千田先生にご紹介いただいた資料はこちらです！

『遺伝子組み換え食品って何？』（輸入食品の安全性を問うシリーズ Part2）
（農山漁村文化協会/農文協 VIDEO）

図書 ID : 07806644 請求記号 498.54 || Y98 || 2
本館 3 階視聴覚室で利用できます。